

葛城市

市議会報告

はじめるネット

2020年12月
(令和2年)

通算第13号

●葛城市議会議員

吉村 始

はじめ



バックナンバーはこちら▶

<https://www.hajimerunet.com>



質問



尺土駅エレベータ 早く設置を

市の計画だと 設置は早くて5年先！

第2期阿古市政が始まりました。阿古市長は「広報かつらぎ」で「さらに魅力あふれる、誰もが住みよい葛城市」を目指すとして、7項目の施策の柱をかかげておられます。その1つに「尺土駅前開発と産業の活性化」があります。

駅周辺整備のような事業は、どうしても時間がかかります。市は当初の計画どおりに事業を進めていますが、現行の計画は2010年に山下市政のときにつくられたものです。この間、世の中の状況はどんどん変わってきています。駅前広場の完成は、開発のゴールではなく、スタートなのです。最初の計画にこだわらず、見直すべきです。

はじめ議員が対案示す

私は、市議会議員になってすぐの2017年から合計5回、尺土駅についての一般質問を行い、市の整備計画の見直しを訴えてきました。そして、今年6月の一般質問では、実現可能な提言を行いました。私の案には3つのメリットがあります。

- エレベータの使用開始が格段に早くなります
- 歩道橋の工事が不要で工事代が安くなります
- 雨の日、傘を差さずにエレベータに乗れます

エレベータ設置を望む市民の声は切実です。行政には、私の対案を検討いただくよう要望します。

→はじめ議員案の詳細は中面に



～おし
次の内容を第14号

12月議会で行った一般
「コロナ下の女性への影
「安心な業者情報の提供

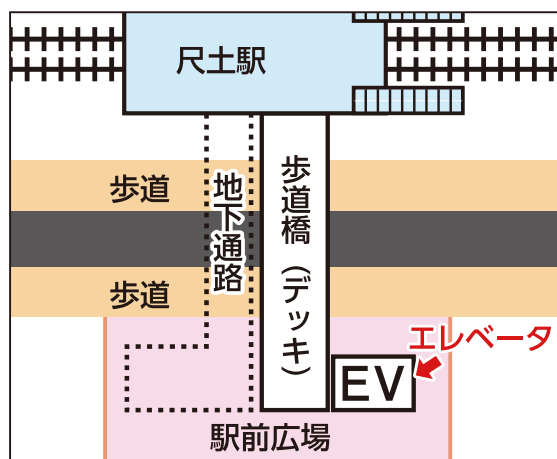
コロナ感染防止のため
「吉村はじめと始める会
市議会報告会の開催に

駅舎直付け案の採用を

現行の計画では、下の絵のように道路の上に歩道橋（デッキ）を架けて、その先の駅前広場（ロータリー）に階段とエレベータとを設置することになっています。歩道橋には屋根がありません。雨や風の強い日にベビーカーや車イスをご利用の方、ご高齢の方がエレベータに乗るために歩道橋を渡るのは危ないのではないかと心配です。

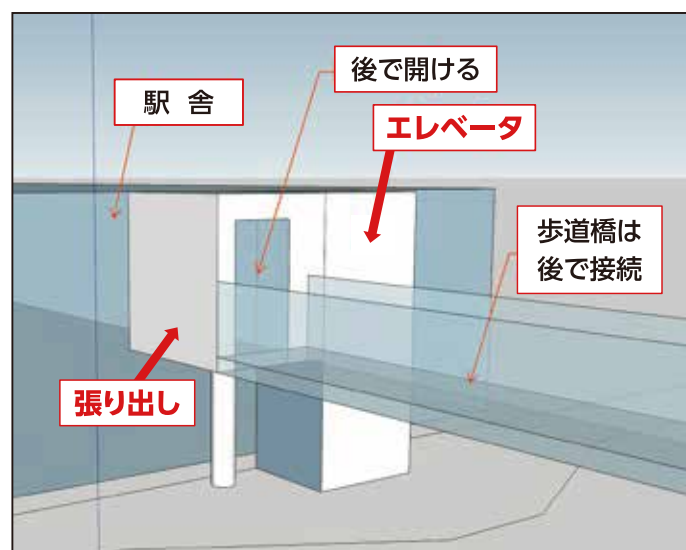


現行の計画

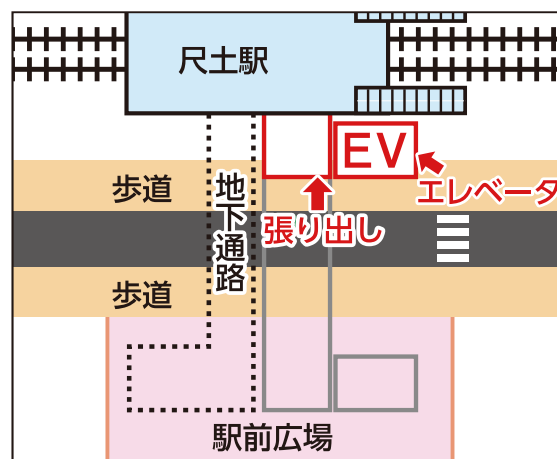


はじめ議員案をざっくり言うと、駅舎からバルコニーのような「張り出し」を設けて、そこにエレベータをくっつけて設置します。張り出し部分に屋根と壁を付けることもできます。

駅舎から駅前広場までは横断歩道を設けて地上を移動します。そのため歩道橋をすぐに建設する必要はなく、将来、交通量が多くなったときに設置できるように下準備だけしておきます。



はじめ議員案



らせ～

号にてお伝えします

質問

「影響と課題」
「共」について

「延期中の」
「主催」について



9月議会 一般質問



はじめ議員案は、法的にも技術的にもバッチリ実現可能です。法的、技術的なことについては、ここには書き切れないので、ご興味のある方は、お声がけいただくか、葛城市議会のサイトで議事録をご覧ください。

「百聞は一見にしかず」というわけで、左のイメージ図を建築士の友人がつくってくれました。私が訴える「早い」「安い」「安全」の提言を、市民の皆様幅広くお伝えするように努めてまいります。

こうがい

香害の実態を知って

香害とは、洗剤や柔軟剤などに含まれる合成香料（化学物質）が体の中に蓄積して化学物質過敏症という病気を引き起こしたりする問題です。化学物質過敏症は、誰もが突然かかりうる病気なのです。

葛城市では、すでにホームページや「広報かつらぎ」（7月号）で化学物質過敏症の啓発を行っています。市の保健福祉部長は「行政内部にも周知していきたい」と答弁されました。

今後、行政と市民とが一緒に公共のルールを作っていくことが重要だと考えます。



コロナ下のいまこそ 市民と行政が協働を

コロナ下の状況にあっても市民活動の継続は大切だと、私は考えています。

たとえば、市民の皆さん制作の「かつらぎ・てれび」では、市の健康増進課の管理栄養士や助産師が出演された子育て指導の動画を配信しております。コロナ下の状況でも工夫をされている市民や行政の皆さんにエールを送ります。

電子図書館の充実を

電子図書館とは、インターネットで図書館の本が読めるサービスです。近隣の大和高田市や広陵町ではすでに開設されています。

葛城市でも予算が計上されたので、今後の運用などについて質問しました。今年は試験的な導入ですので、来年以降も継続して充実させてほしいと要望しました。





市議会だより 新しくなりました

葛城市議会の「葛城市議会だより」（年4回発行）が、今月（39号）からリニューアルしました！

私が2018年11月に編集委員長になって丸2年。この間、文字ばかりで堅苦しかった「市議会だより」を、もっと伝わるものにしようと何度も話し合いを重ねました。講師にお招きした広報アナリストの吉村潔先生の的確なご指導のもと、途中くじけそうになりながらも、編集委員ほか関係者の皆さんの熱意と努力とで、ついに紙面を刷新できました。

政策10 市民にどしどし 情報発信！

葛城市議会のライブ中継では録画配信は行っていません。いつでも視聴することのできる「録画配信」の実現に取り組みます。また本紙などでも引き続き、市政の状況を「市民目線」で伝えてまいります。



「はじめるネット」第4号より

私は2017年の議員選挙で、市議会の情報を「市民にどしどし発信」すべきだと訴えました。すでに録画配信が実現し、いま「市議会だより」も刷新できました。ついでに、私も紙面作りを学んだおかげで、本紙も、より伝わるようになったかも？！

※先月、南今市の林増穂さん発行の新聞「一市民地域ニュース」が180号をもって終刊されました。私は葛城市民の一人として、市内にこのような自主的な市民メディアがあることを誇らしく思っていました。市政を良くしたいと願って活動してこられた林さんに敬意を表して、これからも「はじめるネット」を発行してまいります。

未処理金調査委員会が 報告書をまとめました

2018年2月に設置された「旧町時代における未処理金調査特別委員会」（私も委員の一人）は、2年7ヶ月にわたる調査の結果、9月に報告書を提出しました。委員会では3項目を調査しましたが、結果は次のとおりです。

①未処理金は、いつ誰がつくったのか？

➡古い話なので、結局わかりませんでした。

②これまで、どのように管理されてきたのか？

➡約1億8,000万円については、かなり解明できました。ほかの数億円は行方不明です。

③未処理金を、今後どのように扱うのか？

➡葛城市のお金すなわち公金と認定しました。

「市議会だより」に報告書の大まかな内容を書きました。全文は市のサイトをどうぞ。



報告書全文

●日本学術会議会員の 任命拒否について

日本学術会議が推薦した新規会員候補者のうち、6名が任命されないという事態になりました。政府が、これまでの方針を十分な説明もせずに変えた状況は正常とは言えません。

学術会議は、第二次世界大戦で研究者が戦争に協力した反省から、軍事研究の禁止を訴えています。憲法で保障された学問の自由は、政治の介入から守られなければなりません。学術会議は、首相に「理由の説明」と「速やかな任命」を求める要望書を出しました。私は議会人・出版人として、学術会議の要望を支持します。



★本紙は、ご支援下さる方々と家族とで手配りしています。最新号やバックナンバーは、ウェブ版でご覧いただけます。

バックナンバーはこちら▶

<https://www.hajimerunet.com>



発行 吉村はじめと始める会

〒639-2101 奈良県葛城市疋田379 電話&FAX 0745-69-7590